

WEEKLY REPORT

No. 1604(第5回) 2021年9月1日(水) 点鐘:11時30分 於:オンライン

例会:毎週水曜日 12:45～ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail: azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 濱 昭次 幹事 三原 雅

2021～2022 年度 R. Iテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

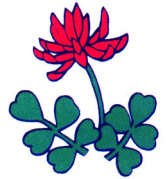
R. I 会長 シェカール・メータ

クラブ標語 【 デジタル化推進によって、例会の充実を図る 】

月間 【 基本的教育と識字率向上 / Rの友 】



SERVE TO CHANGE LIVES



★ ゲストのご紹介

国際ロータリー第2600地区ガバナー 桑澤一郎様
 中信第一グループガバナー補佐 宮尾英明様

★出席者 会長 濱 昭次
 幹事 三原 雅

【国際ロータリー第2600地区 2021～2022 年度 ガバナー 桑澤 一郎 様プロフィール】

所属クラブ: 茅野ロータリークラブ

1957年(昭和32年)8月生まれ

株式会社茅野自動車学校の代表取締役社長であり、地域の交通安全教育の一翼を担う会社の長として、職業奉仕を実践している。

日本大学・芸術学部大学卒業後に、大手外資系広告会社で10年勤務した経験を持ち、また生来の機械好きから早くからコンピュータを使いこなし、自社を国内でも先進的なIT自動車教習所に育て上げた。また他社のデジタル化コンサルティングも手がける。自社で開発した自動車教習所向けのソフトウェアはビジネスモデル特許を取得するなど、持ち前のアイデア力と行動力で業界はもとより、役職を努める他団体でも革新的な運営を進めている。

ロータリー歴は15年ほどとさして長くはないが、早くから地区の委員、委員長を経験し、6名のガバナーを支えた。また自子2人を交換留学に送り出すなどロータリーの奉仕活動との関わりは深い。

趣味は、スポーツカーとバイクのドライブ。

他にもスキーやキャンプなども楽しむ。

音楽の嗜好はROCK、R&B、DanceMusic、J-POPなど多岐にわたる。

アイデアマンであり、常に妄想している。

モットーは「100のアイデアを出さなければ一つが生まれない」「人生はPROBLEM & SOLUTIONの連続」

★会長幹事懇談会(オンライン)

コロナ感染者増加のため、ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事で、オンラインで行いました。



ガバナー桑澤 一郎様から

- ・MY Rotaryの登録
- ・若い世代の会員増強,
- ・個人・クラブのデジタル化 等

のお話を頂きました。

2021-2022 年度の 2600 地区の活動方針及び クラブサポートの重点3項目

1. 繋がり強化(ロータリアン同士、 ロータリーファミリー、そして社会との)

Covid-19により私たちの生活は大きく変化しました。そして多くのことを学びました。繋がりは目に見えないウイルスや突然襲う災害でもろくも断ち切れてしまうことを。そして人間の得たテクノロジーは、使い方次第で未知の厄災による行動制限にも対応可能であることも学びました。

奉仕活動の継続や、会員同士の繋がり基本である例会の継続、このことを実現するための一助としてのオンライン環境の整備をして下さい。既に環境が構築されているクラブは、「全員のオンライン環境」を実現するために、クラブ内委員会を中心に会員同士が助け合うような風土の形成に努力して下さい。オンライン化やデジタル化は、コロナ後の社会でも繋がりを強固なものにする上



で必要不可欠なことです。

また、ロータリーファミリーや社会との繋がりを強化するための「ロータリー奉仕デー」の実施に向け、ガバナー補佐と連携し、クラブでの実施のサポートを行います。

2. 女性会員の増強と役割の重要性

女性の機会や地位の向上を目指す取り組みは、女性ロータリアンが考え行動することが重要です。そのためにロータリーに女性会員を増やし、彼女たちが自らの問題として捉えていることの解決策を見出し、実践し、クラブの変革の一助となり、更には社会へのアピールを積極的に行っていただきたいと思います。

但し、男性、女性にかかわらず会員基盤の充実は引き続き重要課題です。

3. 積極的な広報活動とビジュアル

アイデンティティの強化

社会のロータリーへの理解と入会見込み者への正しい理解や動機付けを促進するための広報活動を積極的に推進します。

また、ビジュアルアイデンティティとは、見た目の特徴付けのことです。私たちが、多くの仲間を迎えたり、また多くの人たちと繋がりながら、より大きなインパクトのある奉仕活動を実行するためには、私たちの活動を通じてロータリーに対し理解や共感の意識を持ってもらうことも必要です。奉仕活動をするとき、揃いのジャンパーを着たり、幟を立てたりすることは、私たちの活動を世間に知らしめ、活動に共感する人を仲間にする機会を増やします。また例会に出席するときは、ロータリアンであることを示すきちんとした服装や態度が、世間からの尊敬やあこがれを増長します。また自らを律します。

重点項目への活動目標

1. RI 会長テーマの理解と促進のサポート

- ・クラブが、RI 会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を理解・活用してロータリーのビジョンに沿って活動できるようサポート行う
- ・目標達成のため、全クラブにロータリー賞への挑戦を推奨し、アドバイスする

2. 繋がりを強化するためのサポート

- ・「ロータリー奉仕デー」の実施によるロータリーファミリー及び社会との繋がりの理解と、実施推進のサポート
- ・地区及びクラブのデジタル化、オンライン化を推進し、各種業務の効率化と、例会や委員会、各種研修会等を、オンラインまたは対面との併用によるハイブリッド形式での実施するためのサポート
- ・「クラブのデジタル化推進のための研修会」の実施

3. 女性会員の増強とリーダーへの育成

- ・女性会員の増強とリーダーへの育成サポート
- ・メータ会長の「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」の推進
- ・ロータリークラブ入会案内パンフレットの制作とクラブへの配布

4. 積極的な広報活動によるサポート

- ・新聞広報等の実施
- ・SNS によるクラブ広報のサポート

☆米山奨学生カンさんへ奨学金贈呈



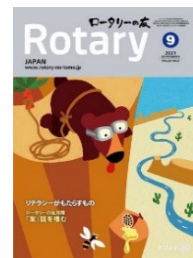
[濱会長より奨学金が贈呈されました]



『ロータリーの友』 2021 年 9 月号

2021 年 9 月号の見どころ

- 表紙「虎穴に入らずんば虎子を得ず」
- 特集 基本的教育と識字率向上月間「リテラシーがもたらすもの」
- 特集 ロータリーの友月間「座談会『友』 誌を嗜む」
- 本間健一郎さん(新潟東RC) × 梶間順子さん(浦和中RC) × 秋田京子さん(柳井西RC) × 深尾兼好さん(鹿児島西RC)
- 「よねやまだより」ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
- 【新企画】すずちゃんの Just say cheese! ③
テーマ: 室内を撮る 執筆: フォトグラファー鈴木知子さん
- 「NEW GENERATION」
米山奨学生 アルアーマド・ラジさん
ローターアクター 日野聡子さん
- 「SPEECH」
「社会力育てが人類社会を救う」
元筑波学院大学学長・筑波大学名誉教授 門脇厚司氏の講演趣旨
- 「この人訪ねて」
靴製造販売・河野忠友さん(神戸RC)



【9月11日 三角島カヌー教室】



・三角島でカヌー教室が開催されました





【 9月12日三角島清掃活動 】



・2820 地区（プロジェクトホスト）がロータリー奉仕デーの一環として「地球環境保全プロジェクト」が開催されました。

これは、世界中のロータリアンが、同じ日に、それぞれの国や地域で、市民と共に海岸や河沼の清掃を行うグローバルイベントです。

このイベントに当クラブも参加し、万水川のゴミ拾いを行ないました。



お疲れ様です

[左から三角島PJ等々力さん・濱, 三原, 場々, 中村会員]



川岸のビニール、プラスチック類のゴミ拾いを行いました。



12キロ程のゴミを回収致しました



【皆さん、ご参加いただき
ありがとうございました。】



回収したゴミは、安曇野市観光課職員の方が
クリーンセンターへ持ち込んで頂きました。